



NPO花たば第12回定期総会報告

もっと地域に、支え合いの花たばネットを

*5月24日(日)、第12回総会を開催しました。議長に宗近さんを選出。出席166名(内委任状124名)により、提案したすべての議案が承認されました。一昨年のコミュニティハウス竣工5周年事業、昨年NPO設立10周年事業と2年続きで記念事業が続き、多くの皆さんの御協力に改めて感謝の日々でした。そうした中で、これからの花たばは基幹事業である「コミュニティハウス花たば」のより充実した運営とともに、もっと地域に支え合いのネットを広げていきたいと考えています。

*そのため新年度は ①アンテナショップほっと花たば開店 ②花たばネットに関わるボランティアの拡充と活動内容の向上をめざす ③花たば会員の相互交流や研修などを進めていきます。引き続き、会員の皆さんの参加とご協力をお願いします。なお役員改選の後、第1回理事会を開催し須見理事長の再任を決定しました。



須見理事長

(ご来賓の皆様)



ろっこう医療生協
谷口副理事長



神戸保健サービス
田上専務



ひようごん福祉ネット
日替代表

新年度役員(任期2年)

理事長	須見 恭子
副理事長	中村 慶三 金丸 正樹 岡崎 宏美
理事	岩川 周子 岡田 厚子 木村 圭子 柴田 多恵 藤原 紀子 松下 容子 森本 浩
監事	齋藤 秋生 福井 敏光

'15 納涼夏祭り 盆踊りもね!

- 日時 8月1日(土)午後4時~6時
- 場所 灘組合員集会室(花たば1階)
- 参加費 1,000円 ※浴衣で参加の方は半額(500円)



参加申し込み・お問い合わせは 花たば事務所Tel.801-6632 まで

工場見学、老舗のお料理、夜空を科学する…

盛り沢山な一日でした！

6月11日（木）、日帰りバス旅行に行きました！ 今年の行先は、お隣の明石市。近すぎるかなということで、これまでより1カ所見学場所を増やしての日程となりました。

リフト付きバス
乗務員のお二人が安全サポート！



アサヒ飲料明石工場



十六茶の製造ライン見学
ペットボトルの流れに思わず
へ～！ホーツ！



せっかく来たので、
買っちゃいました…
お・み・や・げ！

賑やかに、おいしくいただきました。
ご馳走さま～



人丸花壇にて



明石天文科学館で星空に身を置く。
プラ寝タリウムしてしまいました。



正解者でジャンケンポン！
賞品は花たばお食事券！



明石タコの
足は太短い、
ホント？

帰路の車内は恒例クイズ大会
大笑いで締めくくり。

あ～楽しかった！ 来年は、どこに行こうかな？

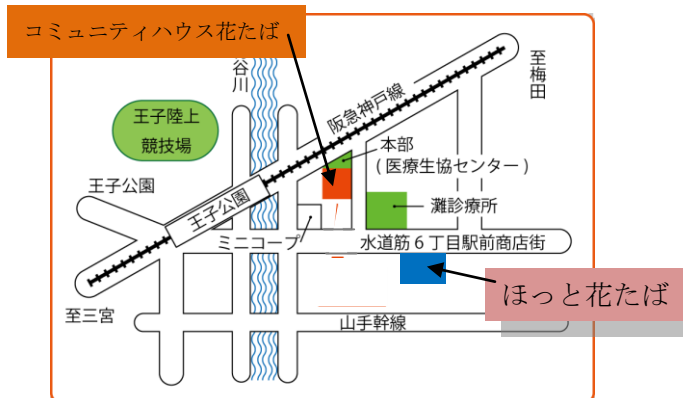


天文科学館・プラネタリウムドーム前で。3-1=にっ！

花たばのアンテナショップ

「ほっと花たば」が開店しました！

6月15日（月）、NPO花たばのアンテナショップ「ほっと花たば」が水道筋6丁目に開店しました。これまで、お茶処花たばにコーナーを設けて展示してきた手作り品やバザーを、この「ほっと花たば」で常設展示販売します。また、ネスカフェ・バリスタも置いてありますので買物の行き帰りにちょっと休憩の場所としてもご利用いただけます。そして、何より支え合いのネットワーク「花たばネット」を知っていただくための場所です。有償ボランティアの仕組み、ボランティアをしてみたい、ボランティアにお願いしたい…、何でも気軽におたずね下さい。



お気軽にお越しくださいね。

活動あれこれ



灘チャレンジ

6月7日(日) 今年もバザー出店、9名が参加しました。10,190円を売り上げました。品物の提供など、ご協力ありがとうございました。

東北支援

6月9日(火) 岩手県大船渡市の長洞仮設住宅支援事業センターに、スタッフジャンパー(長袖・半袖)を送付しました。また、バリスタも順調に利用されているようで、コーヒーを追加発送しました。

明舞ひまわりへ研修

6月19日(金) お茶処ボランティアを中心に10名が参加しました。



「ふれあいお食事処・明舞ひまわり」は、明石市と垂水区の境界をまたいで広がる一大団地明舞団地の明石市側、明舞センター・松が丘ビルの1階で活動しています。1960年代後半に開発が始まった団地は50年の時を経て、高齢者率の高い地域となっています。こうした状況の中で2003年、慣れ親しんだ地域で「生きていく」ための基本は「食」だと、NPOひまわり会は、スタートしました。現在は、ふれあいお食事処(月火木金)でお昼の食事(550円・1日70食程度)とコーヒー(150円)を提供、配食サービスと見守り(月火木金)では(650円・1日80食程度)を届けているそうです。支えているのは、代表の入江さん(85歳)をはじめとする現在43名のボランティアスタッフの方々。最高齢(91歳)のスタッフは「仕事は疲れるけれど、やめたら施設行きと思う。出来る事があるから元気」と話されているそうです。元気な高齢者が弱い高齢者を助けて支えあっている形です。

献立の研究、ボランティアスタッフの健康・安全管理など、日々課題をクリアしながら「食」を通した福祉コミュニティづくりに取り組む「明舞ひまわり」にたくさんの刺激をいただいた研修になりました。



編集後記 早くも7月、梅雨が明ければ夏の空が待っています。暑さに備え体調を整えていきましょう。それにしても、です。国会では、安保関連法案を何が何でも成立させようと95日間の会期延長が決まりました。戦争を経験した世代、親達から戦争の愚、恐怖、悲惨さを聞かされた世代は、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることがないように願いながら歩んできましたが、今の政府はこれを足かせと考え、強い国=戦争で決着できる国と考えているのでしょうか。批判をすべて排除して強行する政府に不穏なものを感じます。国民が等しく穏やかに暮らせる一番の基本は、平和であることです。ろっこう医療生協も、この夏平和を考えようと呼びかけています。今、自分にできること小さくても声にしたいですね。